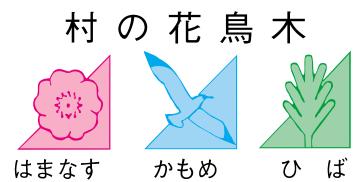


2017
12月号
第502号

広報
かざまうら
KAZAMAURA



発行 風間浦村役場
編集 総務課
HPアドレス <http://www.kazamaura.jp/>
印刷所 協同印刷工業株式会社



風間浦中学校同志社交流

▶今月の内容◀

- 2~5 村のわだい
- 6~8 お知らせ
- 9 大間病院だより・年金だより
- 10 健康だより
- 11 社協だより
- 12 はじめまして／平成30年度保育所入所児童募集のお知らせ／戸籍の窓

▶村民憲章◀

- 1、わたくしたちは、きまりを守り、親切で明るい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、仕事に喜びをもち、豊かな村をつくります。
- 1、わたくしたちは、青少年に希望を老人に生きがいを、そして心のあたたかい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、自然を愛し、花と緑の美しい村をつくります。
- 1、わたくしたちは、常に知識を求め、スポーツに親しみ、楽しい村をつくります。

平成29年度

第26回風間浦中学校同志社交流

同志社交流学習を終えて

佐賀
陽

今回で26回目となる「風間浦中学
校と同志社中学校との交流会」が10
月24日(火)から10月27日(金)まで
の日程で行われました。

両校の交流は、平成5年3月2日、
風間浦中が同志社中を訪問してから
始まりました。

今年度の交流会は、風中2年生13
人と、引率の先生4人、教育委員会
2人の計19人で訪問しました。

今年度は、10月22日からの台風の
影響のため、同校の授業等が変更と
なり、行程が多少変更となりました
が、同志社中学校でのiPadを

使った英語と数学の体験授業をして
いただき、グレイスチャペルにおいて記念品の交換と、吹奏楽部の能渡
桃彩さんのフルート演奏、全員での
合唱及び風中ソーランを披露しまし
た。風間浦中学生は、同志社中学生
と教職員900人の前で、堂々と演
奏・演舞し、たくさんの拍手を頂き
ました。



iPadでの数学の授業

同志社中のみなさん、同志社大学
OBのみなさんを始め多くの同志社
関係者のお世話になり有意義な交流
と体験ができました。ありがとうございました。

京都の人は物腰が柔らかくて、歓迎
されていると感じられました。京都
ぶん京都はいろいろな所から人が来
るので、どんな人でも受け入れられ
るのかなと考えました。下北半島は
外から人があまり来ず仲間内だけでは
ワイワイやっている感じがするので、
自分ももっとオープン人と接
していきたいと思いました。

亀谷 皇太

風間浦を違う目で見た時、たくさん
の人に気づかされました。一番気
づいたのは、私たちは少ない人数だ
けど全員と交流できることです。同
志社中など人数の多い所では全校全
員知っている訳ではなく、全く交流
のない人もいることに驚きました。
僕たちは恵まれた環境に生まれたこ
とに感謝し、勉強への姿勢、臨機応
变に対応することなどを学ぶことが
できました。

駒嶺 錬磨

同志社大学今出川キャンパスでは
八田総長さんから自分の目標に向
かっていく姿勢を学ぶことができ、
大仙院の住職さんからは、人生の中
でどんな苦難があつてもあきらめな
い心や、腹を立てない心の大切さを。
また先生や同志社の方々や添乗員の
村口さん、バスの運転手さん、ガイ
ドさん、ホテルの方々など色々な人
にお世話になりました。改めて感謝
の気持ちは大事だと思います。

柴垣 銀次

同志社大学京田辺キャンパスで
は、電気を使って筋肉や脳、脊髄に
ついて学びました。僕の体に機械を
装着し、上腕二頭筋と上腕三頭筋の
計測をしました。力を入れるとグラ
フが激しく反応してびっくりしまし
た。中学校では体験できないことを
させてもらいました。中学校では体験できることを
作ったり、タブレットを使って図形
問題を解く授業で、結構おもしろ
かったです。

同志社中では英語と数学の特別授業を受けさせていただきました。英語では「アナと雪の女王」を使ってアテレコをしました。難しかったのですが面白かったです。数学ではブロックを組み合わせて特定の形状を作ったり、タブレットを使って図形問題を解く授業で、結構おもしろかったです。

京田辺キャンパスでは、初めての試みで大学の運動生理学の授業を体験しました。

また、昨年に引き続き株式会社秀和(社長は同志社大学OBの奥敏郎

和田 涼翔

酒井 優季

蛸島 咲

学級担任 円子 和顕

大仙院で坐禅体験をした後「だるま大師」の詩を見ました。その詩は僕に向けて書いたのかと思うくらい僕の足りない所を書いてありました。「気は長く心は丸く腹は立てずには大きく己は小さく」和尚さんが言つた通り人ととの出会いは一期一会だと思いました。今回の旅で僕たち2年生はひとまわり成長できました気がします。

伊藤 莉那

全校礼拝での発表では生徒の数が多く驚きました。私たちの発表の時には真剣に見てくれていたのでとても嬉しかったです。朝で声が出にくかったり、発表順番が急に変更されたりと大変なこともありましたが、みんな臨機応変に対応できて良い発表ができました。集団行動や時間の有効活用など学んだことを今後の行事や来年の修学旅行に生かしていくたいです。

川島 めぐみ

今出川キャンパスでは八田総長さんのお話を聞くことができました。その中でステージ上の真ん中のイスは新島先生の席だから誰も座らないということを聞いて、みんな新島襄さんの絵画やイスなどを大切にし、誇りに思っているんだと私は感じました。今回の同志社中学校との交流を通して、人の優しさや集団行動の大切さを知ることが出来ました。

今回の三泊四日の交流を終えて、いつも自分が見ていた世界はこんなにも小さかつたんだなと感じました。風間浦村と同志社とのつながりがこんなにも長く続いていることもすごいと思いました。普段体験できない授業や坐禅、八田総長さんや大仙院の和尚さんのお話、そして800人の前でのソーランなど色々な人の協力で出来た今回の交流会に感謝したいと思います。



グレイスチャペルで記念撮影

同志社中の生徒会との交流では、ごく緊張しましたが、みんな親切です。2月に風間浦中に来るときに一日では足りないくらい楽しかったです。おもてなしできるように企画や準備を頑張ります。今回の交流を通して自分は人見知りだからと言つてはいられないと思いました。こういう時に積極的にやるからこそ楽しめることを学びました。

四日目の朝、全校礼拝の時間を頂いて同志社中学校のチャペルでソーランなどを披露しました。800人がざわついていたのが、発表が始まると静かになつてくれて安心して思いつきり発表することができました。これから同志社大学の留学生や同志社中の生徒会の方々が風間浦中にこられるので、楽しんでもらえるように頑張ります。

伝法 咲良

四日目の朝、全校礼拝の時間を頂いて同志社中学校のチャペルでソーランなどを披露しました。800人がざわついていたのが、発表が始まると静かになつてくれて安心して思いつきり発表することができます。これから同志社大学の留学生や同志社中の生徒会の方々が風間浦中にこられるので、楽しんでもらえるように頑張ります。

能渡 桃彩

大阪から京都へバス移動の際に、大阪万博の時につくられた「太陽の塔」を見ることができました。そして京都へ行ってまず気づいたのは、瓦屋根の家や店が多いことでした。また同志社大学や同志社中学の建物の壁がレンガ積みで、函館で見かけたイギリス積みであることがわかりました。函館で発見し学習した内容が役立つて良かったです。



京田辺キャンパス磐上館(スポーツ健康科学部)前での記念撮影

生徒たちから感想を聞くと、乐しかった、充実していたというものが多かったです。新しいものを体験したり、新しい人たちとコミュニケーションをとったり、普段体験することもないような場所・環境で発表をしたりと様々なことを感じることができます。また、同志社の方たちが準備をして迎えてくださった優しさにも感謝をしたいと思います。今回の同志社交流が生徒たちにとって、貴重な経験になったことを学園生活の中でも実感しています。これからも今回の経験をもとにさらに成長していきたいと思います。



左から 東北電力むつ営業所 猪越所長、富岡村長、
株式会社ユアテックむつ営業所 今所長

LED街路灯寄贈

11月10日（金）、東北電力むつ営業所（猪越千晴所長）と株式会社ユアテックむつ営業所（今彰夫所長）から、明るい街づくりの一環として、LED街路灯4基が寄贈されました。この事業は、東北電力の社会貢献事業の一環として行われているものです。

寄贈されたLED街路灯は、株式会社ユアテックむつ営業所が無償で取付工事を実施し、村内に取り付けられます。



青森銀行従業員組合 久保田執行委員長と富岡村長

青森銀行従業員組合 図書購入費用を寄附

11月10日（金）に青森銀行従業員組合の久保田秀穂執行委員長が本村を訪問し、児童のための図書購入費用として、10万円を寄附されました。この寄附金は、組合結成15周年を契機に“これまで私たちを守り育ててくれた地域社会に感謝の心を”という趣旨で募金活動等により寄せられたもので、県内の市町村へ寄附等をされています。



講師の海老名先生

10月31日（火）、風間浦保育所において「お茶会」が行われました。子どもたちと地域の方々のふれあいを通じ、風間浦村の伝承と地域の活性化を目的として企画されたものであります。

講師にむつ市大畠町の海老名淳子先生をお招きし、ばんだ組（年長）10名の子どもたちが、緊張しながらもお手前で挑戦しました。挨拶から始まり、お茶菓子を出し、抹茶をたてました。

この日は、お母さんやおばあちゃんたちも参加しており、心のこもった子どもたちのお茶を飲んでいました。「おいしかったよ」と言葉をかけてもらうと、子どもたちはとても嬉しそうな表情を浮かべていました。

風間浦保育所お茶会

風間浦保育所の品木所長は、「子どもたちは色々な体験をさせたい。お茶の作法を通じて、礼儀や相手を思いやる心を養つてもらいたい。」と話していました。



お母さん めしあがれ ❤



お片付けまで頑張りました



お問合せ先
☎ 35-3111
(村民生活課保健衛生G)

10月21日（土）第2回ノルディックウォーキング健康づくり教室 催されました。

当日は、あいにくの小雨模様となりましたが、村総合福祉センター「げんきかん」を発着点として、ゆつたりコース（2km）とアップダウンコース（5km）に分かれ30名が参加しました。初めて参加された方も紅葉に色づく木々を見たり、参加者同士の交流を楽しみながら、それぞれのペースでゴールを目指しさわやかな汗を流しました。

第2回ノルディックウォーキング 健康づくり教室



講師の青森県立中央病院 西村司先生



記念撮影の様子



大柳診療所長のさわやかスマイル



雨ニモマケズ 行ってきます!!



村では一般財団法人自治総合センターの平成29年度コミュニティ助成事業を活用し、福祉車両（車椅子対応）を購入しました。

この事業は、宝くじの社会貢献事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するものです。

**宝くじコミュニティ助成事業で
福祉車両（車椅子対応）を購入しました。**

お知らせ

～information～

平成30年度風間浦村奨学生貸与者募集

風間浦村奨学生貸付制度は、村内に居住する者の子弟で、高等学校並びに同等以上の学校に在学する者に対し、奨学資金を貸与し修学の便宜を図り、教育の振興に寄与するとともに人材育成することを目的として行っております。

平成30年度分につきましては、次のとおりの募集を行いますので、奨学生貸与を希望する方は教育委員会事務局までお申し込み下さい。

★対象者

- ・品行方正、学業成績優秀かつ身体強健で、学資の支弁が困難であると認められる者。
- ・高等学校又はそれ以上の学校に在学する本村に在住する者。

★貸付金額

- ・大学の医学部及び歯学部 月額12万円以内
- ・上記以外の大学の学部 月額5万円以内
- ・短期大学 月額5万円以内
- ・高等専門学校 3学年まで 月額3万円以内
- ・ 同上 4学年から 月額5万円以内
- ・高等学校（自宅通学） 月額2万円以内
- ・ 同上（自宅通学外） 月額3万円以内
- ・各種技術、技能養成機関 月額5万円以内

★貸付期間 奨学生の在学する正規の修学期間

○申込み及び提出期限 平成30年1月9日(火)～平成30年1月31日(水)

○書類提出場所 風間浦村教育委員会（☎ 35-2210）

★その他

奨学生の決定及び通知は、奨学生選考委員会の答申に基づき教育委員会が決定し、奨学生採用通知書をもって本人に通知いたします。なお、採用通知を受けた奨学生につきましては、平成30年4月上旬に1年間分の奨学生を一括でお支払いします。

申し込み関係書類は、教育委員会事務局（☎ 35-2210）にありますのでご連絡下さい。

県税の納税証明書の交付申請について

官公庁の入札参加資格審査申請、建設業許可申請、所得税確定申告、金融機関の融資申込み等のため、県税（法人県民税・事業税・地方法人特別税、個人事業税等）の納税額又は未納額がないことの証明書が必要な方は、次の書類等をご準備の上、県税部窓口に交付申請してください。

1 本人申請の場合

- (1) 申請書（県税部窓口に備付。県のホームページからもダウンロードできます。）
- (2) 納税義務者の印鑑（法人の場合は代表者印）
- (3) 本人確認ができる公的書類（運転免許証等顔写真付のものは1枚、顔写真のないものは2枚）
- (4) 手数料 1通につき400円分の県証紙

2 代理人申請の場合

- 前記1(1)、(4)のほか、
- (5) 納税義務者の自署押印による委任状
(委任について、ご本人に確認させていただく場合がありますので、電話番号を記入ください。)
 - (6) 代理人の印鑑
 - (7) 代理人の本人確認できる公的書類（運転免許証等顔写真付のものは1枚、顔写真のないものは2枚）

納税証明書は、納税者の皆様の大切な情報を証明するものですので、窓口での確認を厳格に行っております。ご理解をお願いします。

※ 郵送による交付申請もできますので、詳しくは県税部までお問合せください。

【お問合せ先】

下北地域県民局県税部 納税管理課 ☎ 0175-22-8581 内線203

函館～大間航路、年末年始の運航スケジュール等のお知らせ

津軽海峡フェリーでは、年末年始の期間中（平成29年12月31日～平成30年1月3日まで）において、運休及び一部運航ダイヤの変更を致します。

また、それに伴いターミナル、売店、食堂の営業時間も変更となります。

ご利用のお客様には大変ご不便をお掛けいたしますが、宜しくお願ひ致します。

【函館～大間航路 運航スケジュール】

○…運行日 ×…運休日

	日付			12/31	1/1	1/2	1/3	ダイヤ 以降、 での通 常運 航の
	便	出発	到着	日	月	火	水	
函館発	6	09:30	11:00	×	×	×	×	の 通 常 運 航
	10	16:30	18:00	○	○	○	○	
大間発	5 ※①	08:10	09:40	○	○	○	○	の 通 常 運 航
	9	14:10	15:40	×	×	×	×	

※①ダイヤ変更便（通常ダイヤは大間発07:00発 → 08:30函館着）

- ・運航船舶は、予告なしに変更となる場合がございますので予めご了承ください。
- ・船舶名等詳細については、下記へお問合せ願います。

津軽海峡フェリー(株)大間支店 ☎ 0175-37-3111



年末年始各営業時間

	12月			1月				
	29日(金)	30日(土)	31日(日)	1日(月)	2日(火)	3日(水)	4日(木)	5日(金)
店舗名	(通常営業)			(営業時間変更期間)			(通常営業)	
大間ターミナル	05:30～19:00			06:30～19:00			05:30～19:00	
SEAちゃん大間(売店)	06:00～18:00			07:00～09:00		07:00～14:00	06:00～18:00	
海峡日和大間(食堂)	09:00～18:00 LO 17:30		休業		10:00～14:00 LO 13:30		09:00～18:00 LO 17:30	

平成30・31年度 指名競争入札参加資格審査申請の受付について

一部事務組合下北医療センター（指定管理施設を除く。）が発注する、建設工事の請負、測量・コンサルタント業務及び物品の製造・販売・買受け、役務の提供等の取引分野における指名競争入札への参加を希望する方は申請してください。

【受付期間】 平成30年1月10日(水)から平成30年1月31日(水)まで

※土曜、日曜及び祝日を除く

【提出関係書類】 むつ総合病院ホームページから申請要項及び様式をダウンロードし、申請要項に基づき、それぞれの業種に応じて必要な書類を取り揃えて提出してください。
※ダウンロードサイトのアドレスは次のとおりとなります。

<http://www.hospital-mutsu.or.jp/shimei.html>

【資格の有効期限】 平成30年度及び平成31年度の2年間

(平成30年4月1日から平成32年3月31日まで)

【提出方法】 持参または郵送で提出してください。

【お問い合わせ先】 ☎ 035-8601 青森県むつ市小川町一丁目2番8号

一部事務組合下北医療センター むつ総合病院 管財課契約審査係

☎ (0175) 22-2111 内線3273

日本脳炎の予防接種（Ⅱ期）について

母子健康手帳を確認し、Ⅰ期追加接種終了後5年経過している方が対象です。

日本脳炎予防接種は国の方針により平成17年度から日本脳炎の予防接種の案内を行いませんでした（いわゆる「積極的勧奨の差し控え」）。その後新たなワクチンが開発され、現在は日本脳炎の予防接種を通常通り受けられるようになっています。

今回の日本脳炎予防接種Ⅱ期は、Ⅰ期追加接種後5年経過したお子さんが対象です。

お子さんの母子健康手帳の予防接種欄を確認し、対象となるお子さんがいらっしゃる場合は直接診療所でワクチン接種を受けてください。

かかりつけの小児科などで接種希望の場合は、担当までお問合せください。

【日本脳炎予防接種にかかる注意事項】

【対象者】	風間浦村に住所のある児童・生徒 (日本脳炎Ⅰ期追加接種後5年経過していること) ※母子健康手帳を必ず確認して下さい。
【接種場所】	風間浦診療所 風間浦村易国間大川目11-2 ☎ 35-2001
【接種期間】	平成29年4月3日(月)～平成30年3月30日(金)
【接種費用】	無料で受けられます
【持参物】	母子健康手帳 ※予診票は当日配付・記入していただきます。
【注意事項】	接種時は必ず保護者が同伴してください。また、ワクチン準備の関係上、接種希望日の前日までに診療所に電話連絡して下さい。

● 風間浦村における生まれた年ごとの対応

生れた年度	平成29年度 年度末年齢	日本脳炎予防接種実施状況	今後の対応
平成20年度	9歳	Ⅰ期初回・追加の接種は終了	平成30年度に案内いたします。
平成13年度～19年度	10歳～16歳	Ⅰ期初回・追加の接種は終了	平成29年12月以降からⅡ期の接種可能なお子さんがいます。母子健康手帳を確認し、風間浦診療所で接種して下さい。
平成12年度～9年度	17歳～20歳	Ⅰ期初回・追加の接種は終了	平成29年1月以降からⅡ期の接種可能なお子さんがいます。母子健康手帳を確認し、風間浦診療所で接種して下さい。

【日本脳炎予防接種状況別回数について】

1度も接種したことのない場合	Ⅰ期初回2回を6～28日間隔で接種し、1年後に追加接種を1回する。
Ⅰ期初回1回のみ接種	前回の接種間隔があいていても差し支えないので残りの回数(2回分を6～28日間隔)を接種する。
Ⅰ期初回2回接種済	追加の1回分をおおむね1年後に接種する。※おおむねとは11～13か月
Ⅰ期初回・追加接種済	追加接種後5年経過していれば、Ⅱ期の接種対象。

【お問合せ先】風間浦村 村民生活課 保健衛生G ☎ 35-3111

《各医療機関における年末年始の休診日のお知らせ》

医療機関	月日	12/28(木)	12/29(金)	12/30(土)	12/31(日)	1/1(月)	1/2(火)	1/3(水)	1/4(木)
風間浦診療所 ☎35-2001	診療日	診療日	休診	休診	休診	休診	休診	診療日	
むつ総合病院 ☎22-2111	診療日	休診	休診	休診	休診	休診	休診	診療日	
大間病院 ☎37-2105	診療日	休診	休診	休診	休診	休診	休診	診療日	

※むつ総合病院・大間病院では、救急患者については、24時間受け付けしております。

大間病院だより

「インフルエンザについて」

大間病院 内科医長 二部 悅也

皆さん、気温も低くなり体調を崩しがちではありませんか？寒くなると風邪をひきやすくなるので、ご注意ください。

さて、皆さんはインフルエンザとは一体、何者かご存知でしょうか？先に結論を述べます。インフルエンザは実は、ただの風邪なのです。しかし、社会的な影響が大きいことや死亡率が普通の風邪と比べて高いこと、ワクチン・治療薬があることから特別視されています。

① 予防

毎年、ワクチンは流行となるインフルエンザの種類を予想して作成されます。接種した場合、インフルエンザ感染症になったとしても、症状が軽くなるという報告もあります。特に、呼吸器疾患がある方や免疫の弱い方、妊婦や生まれたての子どもは必ずインフルエンザワクチンを接種することをお勧めします。そして、ワクチンだけでは完全な予防は不可なので、手洗いと咳工チケットを徹底しましょう。

② 治療薬

大間病院には内服薬・吸入薬・点滴の3種類が常備されています。ではこの薬はどのくらいの治療効果があるのでしょうか？

ある研究報告では「元気な大人の場合、症状がなくなるまでの期間が半日早まった」と報告されています。また、「特に病気のない子供の場合、薬を飲んだからと言って、症状などが早く治るわけではなかった」とも報告され、「吐き気や嘔吐などの副作用が多くかった」と報告されています。

つまり、呼吸器疾患がある方や免疫の弱い方、妊婦や生まれたての子どもでない健康な子どもや大人に治療薬の必要性は低いです。ゆっくり7日程度、休むことをお勧めします。逆に病気のある方達は、肺炎を合併する可能性もあるので薬を使う方が良いでしょう。

以上よりインフルエンザのため熱が出て病院の薬を飲んでも、治るまでの期間はほぼ変わらない人が多いです。インフルエンザと診断された場合、「インフルエンザの治療薬を飲まなくても良い」と医者に言われても、それは医学的に正しいことなのでびっくりしないでくださいね。また、最初にインフルエンザと診断されても、インフルエンザの後に起こり得る病気やインフルエンザと似た病気もありますので、長引く場合は受診をしてください。

年金だより

～新成人の皆さんへ～ 20歳になったら国民年金（前編）

国民年金は、年をとったとき、病気や事故で障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、働いている世代みんなで支えようという考え方で作られた仕組みです。

国民年金は20歳以上60歳未満の方は加入することが義務付けられています。

20歳になったら、忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう！

➤ 国民年金のポイント

◆将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの方が加入し、保険料を納める制度です。

国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

◆老後のためだけのものではありません

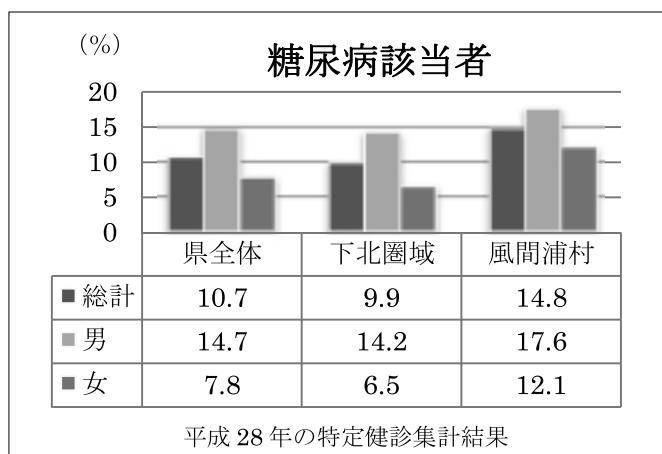
国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また、遺族年金は加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（「子のある配偶者」や「子」）が受け取れます。

【お問合せ先】 むつ年金事務所 ☎ 0175-22-2278
風間浦村 税務国保課 ☎ 0175-35-2111

健康だより

糖尿病を予防しよう！

糖尿病についてどれくらいご存知ですか？青森県内の糖尿病患者は糖尿病が重症化してから糖尿病の改善に取り組む人が多く、3大合併症（網膜症、腎症、神経障害）を発症している患者の割合が全国と比べて高いようです。これは健康寿命を延ばす上での課題となっています。



平成28年度の風間浦村の状況としては、左図より特定健診を受けた40歳以上の糖尿病該当者が、県全体・下北圏域に比べて総数、男女ともに高いです。

糖尿病該当者とは、血糖126以上またはHbA1c6.5%以上を満たす者をいいます。

糖尿病への正しい知識を持ち、重症化・合併症を予防して健康でいきいきとした生活を送りましょう。

糖尿病とは…

すい臓から出るインスリンというホルモンの作用不足により、常に血糖が高くなっている状態のことです。糖尿病のこわさはその病気自体よりも合併症にあります。糖尿病は初期にはほとんど自覚症状がない（自分では気づきにくい）ため、知らない間に病状が進行していき、突然、合併症となって姿を現すからです。そのため日頃から食生活と運動に気をつけること、健診を受けて糖尿病の早期発見・治療が大切です。みなさん、ぜひ来年も健診を受けましょう。

糖尿病を改善・予防する生活習慣

- ・健康体重の維持（太りすぎないこと）
- ・1日3食、主食、主菜、副菜を摂る
- ・野菜、海藻をしっかり食べる
- ・まとめ食いをしない
1回に食べる量が多いと血糖値が上がりやすいので注意
- ・お菓子や甘い飲み物を控える
- ・お酒はほどほどに（週2日は休刊日を！）
- ・運動習慣をつける
運動することで糖をエネルギーに変えるため体重が減らなくても血糖値は下がる
- ・1年に1回健診を受けましょう
糖尿病の疑いがあると判定されたらすぐに病院へ！



何か気になること、相談したいことがあれば、遠慮なく村民生活課までご連絡ください！

【お問合せ先】 風間浦村 村民生活課 保健衛生G ☎ 35-3111

社協だより

Vol.292

シルバー人材センター会員が拠点のげんきかんで奉仕活動



作業風景

◎会員の皆さん、毎年ご協力くださり、誠にありがとうございます。
（シルバー人材担当 佐藤）

この日は会員ら13人が日ごろの業務などで培った技術や経験を活かし、草刈りや枝打ち、木のせん定などを汗を流しました。

参加者は午前8時半から昼にかけて、せん定ばさみや草刈り機などを手に美化作業に励みました。

社協が運営するシルバー人材センターは10月18日（水）、げんきかん敷地内や周辺の遊歩道で美化ボランティアを行いました。

この日は会員ら13人が日ごろの業務などで培った技術や経験を活かし、草刈りや枝打ち、木のせん定などを汗を流しました。



遠藤雪夫大会長式辞

第12回むつ下北地域社会福祉大会開催

11月1日（水）むつグランドホテルにおいて、むつ下北地域の福祉関係者ら出席のもと標記大会が開催され、当村社協役職員、評議員ら11名が参加しました。

認定NPO法人・斗南どんどこ健康村理事長の奈良正義氏が「下北じオパーク」について講演。

大会式典では、多年にわたり地域福祉向上に尽力されている次の方々が社会福祉功労者表彰を受けました。



懇親会のようす



原燃PRセンター見学

老人クラブ連合会研修旅行

このほど、村老連では研修旅行を実施。会員40名が参加しました。

一行は、原燃PRセンターを見学後、「スパハウスろっかぱつか」に移動、のんびりと食事や入浴を楽しみながら交流しました。

○対象世帯	低所得世帯（※目安として、夫婦と児童2人の計4人世帯で、世帯年収入手取額380万円未満程度）
○貸付上限月額（償還期限）	・高校 3万5千円（8年）
	・短大等 6万円（10年）
	・大学 6万5千円（15年）
※貸付上限月額は、自宅からの通学か否かを問わず同額です	
※貸付利率（無利子）	
※3月卒業時、10月償還開始	・高校 3万5千円（8年）
○受付時期	・短大等 6万円（10年）
新入学者は入学試験時期、在学者は隨時受付	・大学 6万5千円（15年）

○注意事項等

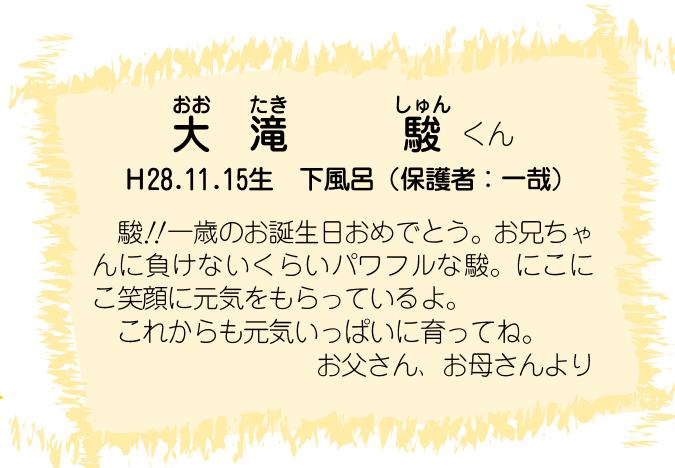
- ①金融機関や他制度の奨学金、母子寡婦福祉資金など借入可能な方は、他制度優先です
- ②民生委員の意見書を要します
- ③就学仕度費として別途50万円の貸付枠があります

【主な他制度】

- ・母子寡婦福祉資金
- ・公益財団法人青森県育英奨学会
- ・日本学生支援機構奨学会
- 他制度の詳細は、各学校等にお問合せ下さい。
- 〔詳しいお問合せ・申込み先〕
- 「げんきかん」内社会福祉協議会
- 電話：351-2243 担当：川島

はじめまして

満1歳になりました。
これからもヨロシク!!



平成30年度保育所入所児童募集のお知らせ

平成30年度の風間浦保育所への入所児童を次のとおり募集しています。入所を希望される方は、次の事項にご留意の上「支給認定(現況)兼入所申請書」に必要事項を記入のうえ、期限までに提出して下さい。

■申込み受付期間

平成29年12月4日(月)から平成29年12月27日(水)まで

■入所対象児童

風間浦村に住所を有し、保護者が就労、疾病、介護等のため保育を必要とする児童で、平成30年4月1日時点での生後満6ヶ月以上の児童。

■申込み書類について

- ①支給認定(現況)兼入所申請書
- ②就労証明書

- ・求職中の場合は、求職活動を証明できるものの提出をお願いします。
- ・勤務先が変わったときは、再度提出をお願いします。

※新規入所、継続入所どちらの方も上記二つを提出していただきます。

※申込に係る書類は、風間浦保育所または村民生活課(げんきかん)に用意してあります。

■受付場所

村民生活課(げんきかん)

【お問合せ先】風間浦村 村民生活課 ☎ 35-3111

戸籍の窓

(10月届出分)

●お誕生おめでとう

阿部 達磨くん (剛士) 易国間

●お悔み申し上げます

菊 池 正 直 さん	(74歳)	蛇 浦
長谷川 勝 由 さん	(75歳)	蛇 浦
工 藤 吉 郎 さん	(85歳)	下風呂
佐 賀 克 已 さん	(39歳)	下風呂
酢 谷 一 利 さん	(67歳)	下風呂
橋 佐 幸 一 さん	(95歳)	下風呂
山 本 ケ イ さん	(83歳)	下風呂

私たちの村の人口

(10月末現在)

男	978人	(先月比 - 5人)
女	1,012人	(△ - 3人)
計	1,990人	(△ - 8人)
世帯数	943世帯	(△ - 1世帯)